

第1号議案

令和5年度

# 事業実施概要報告書

社会福祉法人松寿会

# 目 次

	頁
I. 本部	
1. 令和5年度まとめ	1
2. 年間行事・諸会議開催状況	2
II. 施設の概要	
1. 建物の規模および構造並びに設備の概要	3
2. 職員の状況	3
III. 特別養護老人ホーム(指定介護老人福祉施設)松寿苑	
1. 令和5年度まとめ	4
2. 施設入所者の状況	
(1)市町村別利用状況	5
(2)要介護度別入苑者数	5
(3)年齢構成	6
(4)在苑期間	6
(5)入退所者の状況	
(イ)入所前の生活場所    (ロ)退所理由	7
(6)利用負担限度額の状況	8
(7)障がい老人の日常生活自立度状況	9
(8)認知症老人の日常生活自立度状況	10
(9)入苑者の入院状況	
(イ)疾病別入院者数    (ロ)疾病別入院日数	11
(10)年間利用状況	12
3. 年間行事、余暇活動実施状況	13
4. 給食の実施状況	
(1)入苑者の食事状況	14
(2)検食実施状況	14
(3)栄養摂取状況	14
5. 行事食等献立一覧	15
6. リハビリテーション実施状況	16
7. ボランティア活動状況	17
8. 研修受け入れ状況	17
9. 職員研修状況	18,19
IV. 指定短期入所生活介護事業所ショートステイ松寿苑	
1. 令和5年度まとめ	20
2. ショートステイ利用状況	
(1)年度別利用状況	20
(2)令和5年度月別利用状況	20
(3)令和5年度市町村別利用者状況	20
V. 松寿苑デイサービスあ・うん	
1. 令和5年度まとめ	21
2. 令和5年度月別利用状況	21
VI. 居宅介護支援事業所松寿苑	
1. 令和5年度まとめ	22
2. 令和5年度月別ケアプラン作成件数	22
VII. 事故およびヒヤリハット発生状況	
○ 特養	23～25
○ 短期入所・デイサービス	26
VIII. 身体拘束状況	27
IX. 苦情受付状況	28
付表 入苑待機状況	29

## I. 本部

### 1. 令和5年度まとめ

令和5年度は「質の高い介護の実践と職員のワークバランスの実現によって利用者へ、貢献できる組織を創る」をコンセプトに4つの目標を掲げ1年間取り組んできた。その1つに「安心して、長く楽しく働ける職場環境創り」を掲げてきたが、5年度においても職員の入退職者の動きが大きく正職員の退職又、数名の経験豊富なパート職員の退職が業務に大きく影響が出て厳しいものであった。そのため夜勤のできる職員の確保が難しく、ショートステイの受け入れを調整せざるを得なかった。ショートステイの収入は昨年から見ると1,600万円余りの減収となり、又、設備関係では空調設備の修繕に約900万円の支出となりこの2点で大きく収支に影響が出た。介護事業は、人対人でしか成り立たない事業であり、どれだけAIが発達しても人対人は替えることはできない。安定した経営を続けるためには、人財の定着が不可欠であり、働きやすい、心地よい職場を作り上げることが急務である。現在、職員紹介会社からの採用がほとんどであるが、少子高齢化の中、紹介会社を頼れない時代がやってくる。当苑だけの特色、魅力を打ち出し、人財が集まってくる物を作り上げなければならない。稼働率については、多床室97.5%、ユニット96.2%、ショートステイ48.3%、デイサービス66.6%、居宅介護支援については件数で昨年比130.6%であった。収支においては、デイサービス、居宅介護支援が赤字から、黒字になったことは職員の意識の変化と各事業の連携、コミュニケーションが結果として現れた。今後、当苑が存続して行くためには、将来の明確なビジョンと判断力が左右すると考える。役職員一体になり、事業内容の検討など根本的なことの見直しを図り安定した職員の定着を目指します。

## 2. 年間行事・諸会議開催状況

実施年月日	行事・会議	内容事項
R. 5. 5. 25	監事による会計監査	4年度事業執行状況及び会計監査
R. 5. 6. 5	第166回理事・監事 合同役員会	令和4年度事業報告及び収支決算認定 職員就業規則の一部改正 臨時職員就業規則の一部改正 ユニット型指定介護老人福祉施設運営規程の一部改正 指定介護老人福祉施設運営規程の一部改正 新理事・監事の選任 顧問の委嘱 評議員候補者・退任者 JKA補助金事業 ハラスメント防止規程の新設
R. 5. 6. 20	定時評議員会	令和4年度収支決算認定 理事・監事の選任について 役員等報酬規程の一部改正
R. 5. 6. 24	第167回理事・監事 合同役員会	理事長の選定について
R. 5. 9. 12	理事・監事合同役員会 (招集省略)	臨時職員就業規則の一部改正
R. 5. 12. 22	第168回理事・監事 合同役員会	ユニット型指定介護老人福祉施設運営規程の一部改正 ユニット型短期入所生活介護事業所運営規程の一部改正 指定介護老人福祉施設運営規程の一部改正 短期入所生活介護事業所運営規程の一部改正 デイサービスあ・うん運営規程の一部改正 職員給与規程の一部改正 育児・介護休業等に関する規則の一部改正 R5年度第1次補正予算(案)
R. 6. 3. 22	第169回理事・監事 合同役員会	令和5年度第2次補正予算(案) 令和6年度事業計画(案) 令和6年度予算(案) 指定介護老人福祉施設運営規程の一部改正 短期入所生活介護事業所運営規程の一部改正 ユニット型指定介護老人福祉施設運営規程の一部改正 ユニット型短期入所生活介護事業所運営規程の一部改正 デイサービスあ・うん運営規程の一部改正 居宅介護支援事業所運営規程の一部改正

## II. 施設の概要

### 1. 建物の規模および構造並びに施設・設備の概要

敷地面積	9, 865. 82㎡		
建物の面積	建築面積	2, 698. 28㎡	
	延床面積	4, 498. 59㎡	
	(本体	4, 385. 57㎡)	
建物の構造	RC造、2階建		
施設の概要	特別養護老人ホーム (ユニット型個室)	50床	
	〃 (多床室)	30床	
	短期入所生活介護事業所 (ユニット型個室)	10床	
	〃 (多床室)	空床型	
	デイサービス	30名	
	〃 (介護予防・日常生活支援総合事業)	5名	
設備の概要	居宅介護支援事業所		
	空調冷暖房、エレベーター、全館放送設備		
	ナースコール、特浴 (1)、個浴 (3)、中間浴 (5)		
	各ユニット・多床室・デイサービスに調理設備		
	リハビリ器具 (トレーニングマシン (4)・レッドコード (6) 平行棒)		
防災設備	スプリンクラー、消火用散水栓、自動火災報知機		
	非常火災通報装置、誘導灯、非常電源設備、避難用すべり台		

### 2. 職員の状況 (R6. 3. 31現在)

	特養		短期	デイ	居宅介護 支援	合計	備 考
	多床室	ユニット	ユニット	サービス			
施設長 (管理者)	1名				1名	2名	
生活相談員	3名			1名	—	4名	社会福祉士4名
看護職員	4名		1名	2名	—	7名	正看護師5名パート2名
介護職員	16名	36名	8名	8名	—	68名	介護福祉士50名 パート29名 派遣1名
介護支援専門員	1名			—	2名	3名	1名は兼務 パート1名
機能訓練指導員	1名			1名	—	2名	PT 2名
管理栄養士	1名			—	—	1名	
運転手	—			2名	—	2名	パート2名
事務員等	4名					4名	パート1名
実 員	93名	正職員60名 嘱託・臨時等 (常勤) 4名					パート29名

※ 介護支援専門員…特養・短期は、生活相談員・介護職員と兼務  
居宅介護支援は管理者と兼務

### Ⅲ. 特別養護老人ホーム(指定介護老人福祉施設)松寿苑

(多床室30床、ユニット型50床)

#### 1. 令和5年度まとめ

「サービスの質の確保、入居者本位のサービス提供」については、入居者一人一人が主体的に日常生活を営むことができるよう、入居者、家族の意向を反映した介護サービス計画書を作成し実施した。令和5年5月より新型コロナウイルス対策が5類移行以後は面会制限を緩和して対応したが、12月にインフルエンザ警報が発生したことで、面会を中止させて頂いた。その為、職員は入居者一人一人の状態を把握し、丁寧な対応に努めた。

看取り介護については、5名の方が家族や職員の見送りの中、人生最後の瞬間を慣れ親しんだ当苑で迎えられた。より良い支援につなげて行くため、また職員の意識向上のために看取り後の振り返りカンファレンスを継続して行った。

「安全確保とリスク対策」については、リスクマネジメント委員会を中心としヒヤリハット報告書を活用し、対策を検討してきた。本年度は、苑内研修を実施し、事故対策について検討した。

「人材育成」本年度の苑内研修は、外部講師を招いた研修も再開することができたことで、演習なども行うことが出来た。また勤務が不規則な職員も参加できる様、研修を2部制とし、また同日にはオンラインでも受講できる体制を整えた。また各委員会が研修を主催することで、主体的な活動に務めた。

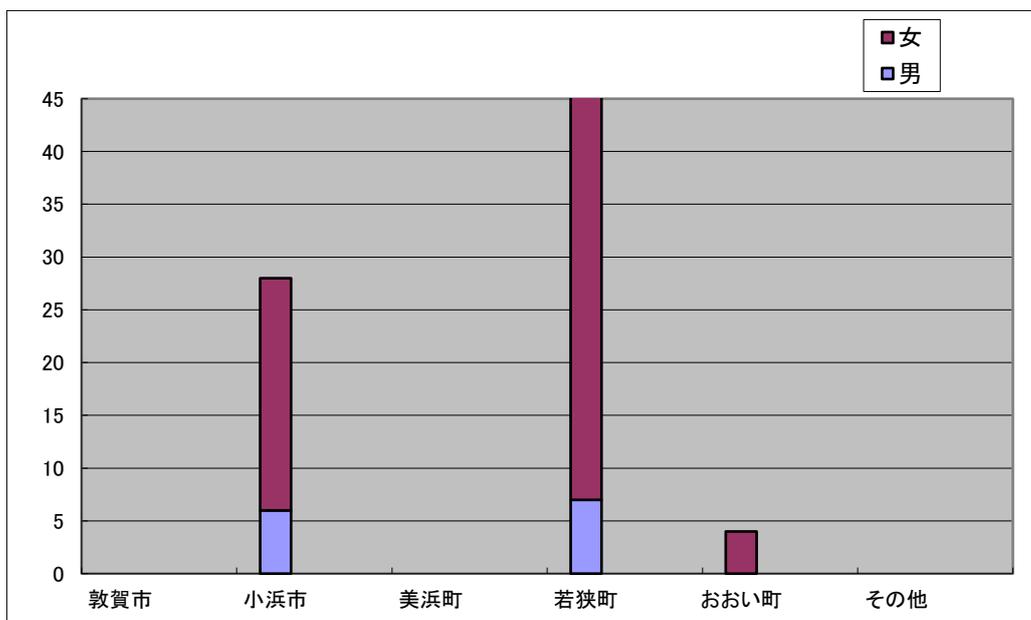
令和5年度の稼働率は、昨年度の95.0%から96.4%と増加した。内訳として、多床室は96.1%から97.5%へと増加した。ユニット94.4%から96.2%へと増加した。本年度は、新型コロナウイルス等の影響も見られず安定した運営となった。多床室では、入院日数増加したが、空白日数の減少が要因と考えられる。ユニットでは入院日数、空白日数共に減少した。当初2ヶ月は入院や退所後の空床が続いたが、6月以後は安定した受入が出来た。

今年度の入院者の内訳を見ると、呼吸器系に関する入院者数が前年度の271日から116日に半減した。令和3年度から取り組みを継続している、口腔ケアの効果が大きいと考える。その一方で、腎・泌尿器科に関する入院が、79日から222日に増加した。排泄委員会等通じて対応を検討したい。

引き続き、ご利用者が安心して生活して頂き、職員が働きやすく働きがいのある環境整備に努めていきたい。

2. 施設入苑者の状況  
 (1) 市町村別利用状況

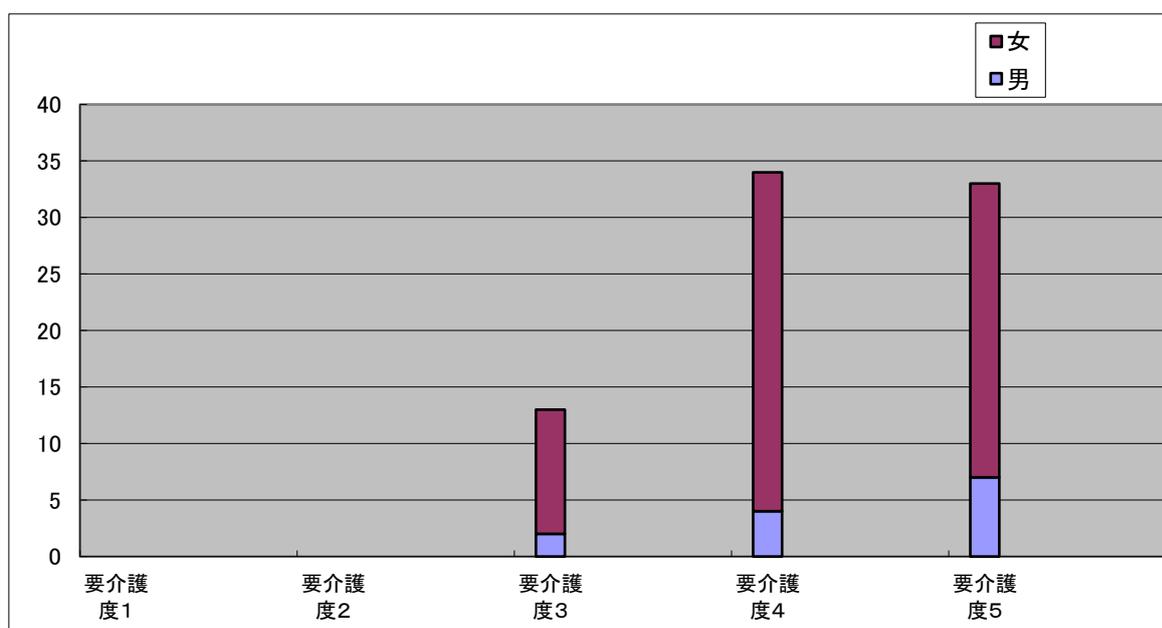
(令和6年3月31日現在)



	敦賀市	小浜市	美浜町	若狭町	おおい町	その他	合計
男	0	6	0	7	0	0	13
女	0	22	0	41	4	0	67
計	0	28	0	48	4	0	80

(2) 要介護度別入苑者数  
 平均介護度 4.25

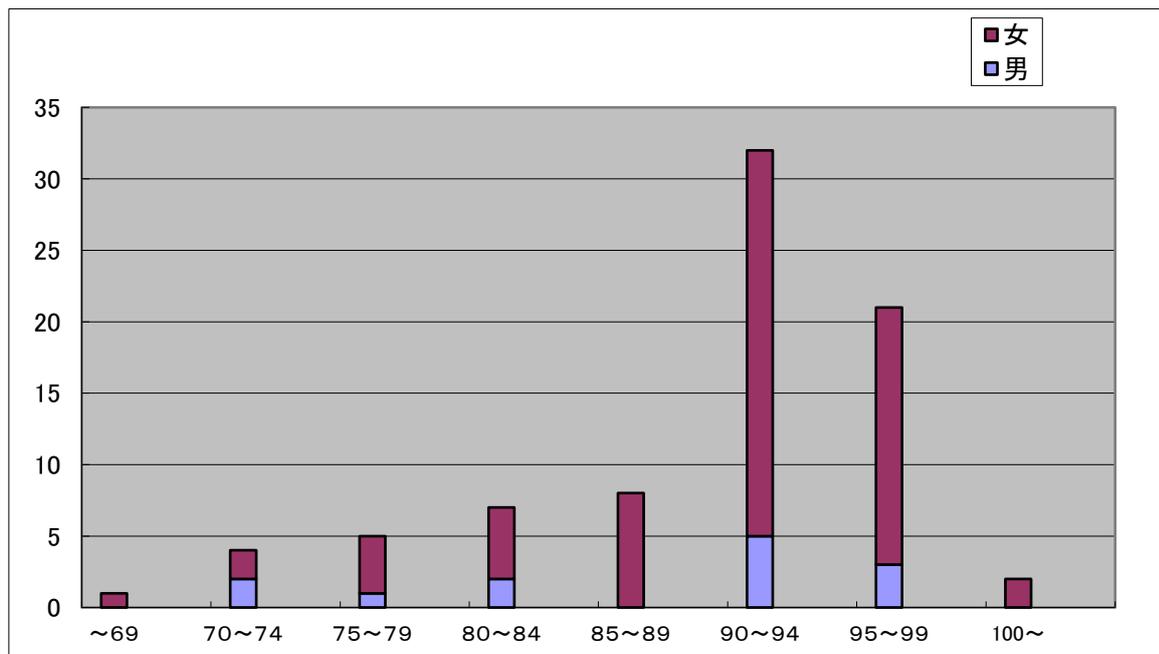
(令和6年3月31日現在)



	要介護度1	要介護度2	要介護度3	要介護度4	要介護度5	合計
男	0	0	2	4	7	13
女	0	0	11	30	26	67
計	0	0	13	34	33	80

(3)年齢構成

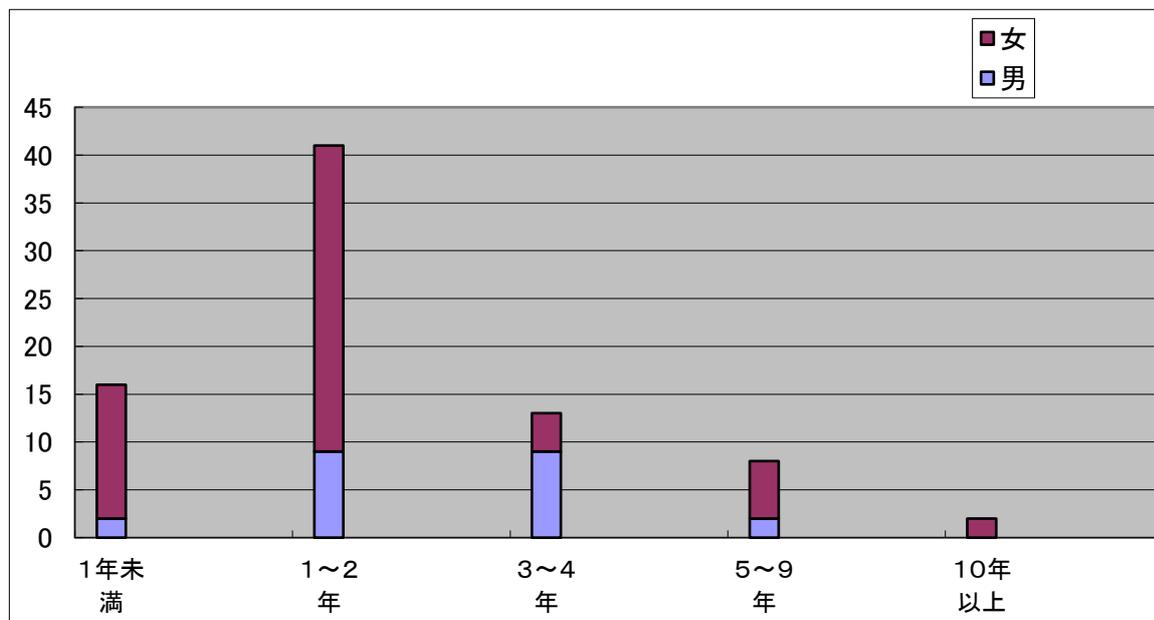
平均年齢 男 87.7歳 女 90.3歳 総数 89歳 (令和6年3月31日現在)



	~69	70~74	75~79	80~84	85~89	90~94	95~99	100~	合計
男	0	2	1	2	0	5	3	0	13
女	1	2	4	5	8	27	18	2	67
計	1	4	5	7	8	32	21	2	80

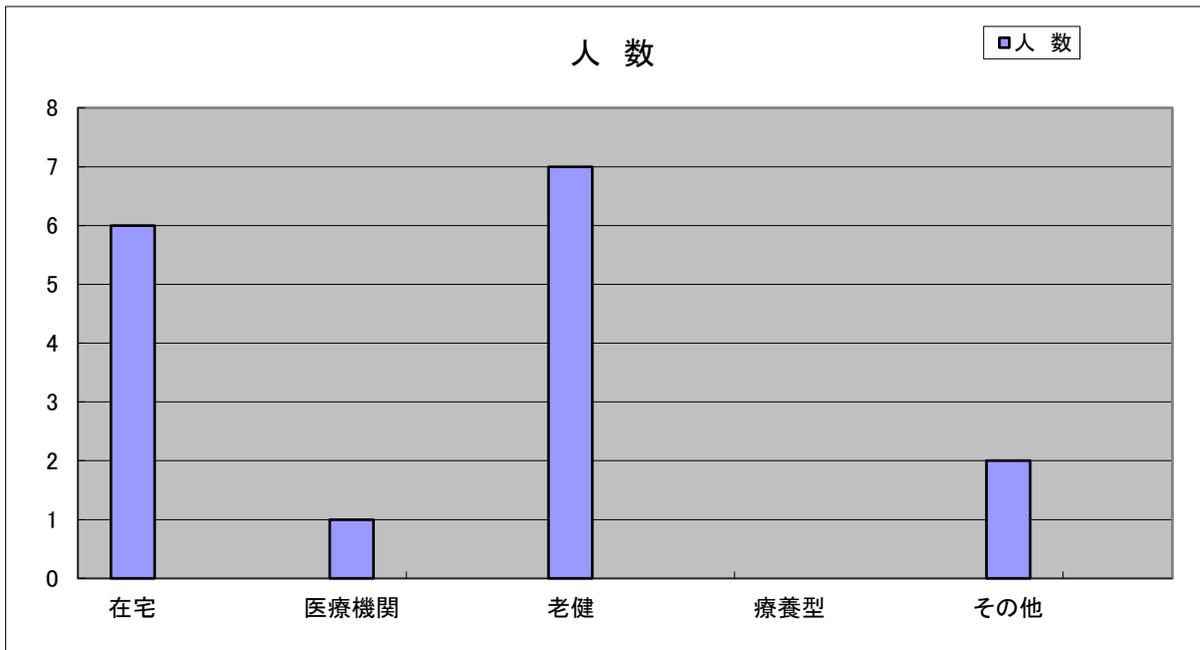
(4)在苑期間

平均在苑期間 男 2年 4か月 女 2年 6か月 総数 2年 5か月 (令和6年3月31日現在)



	1年未満	1~2年	3~4年	5~9年	10年以上	合計
男	2	9	9	2	0	22
女	14	32	4	6	2	58
計	16	41	13	8	2	80

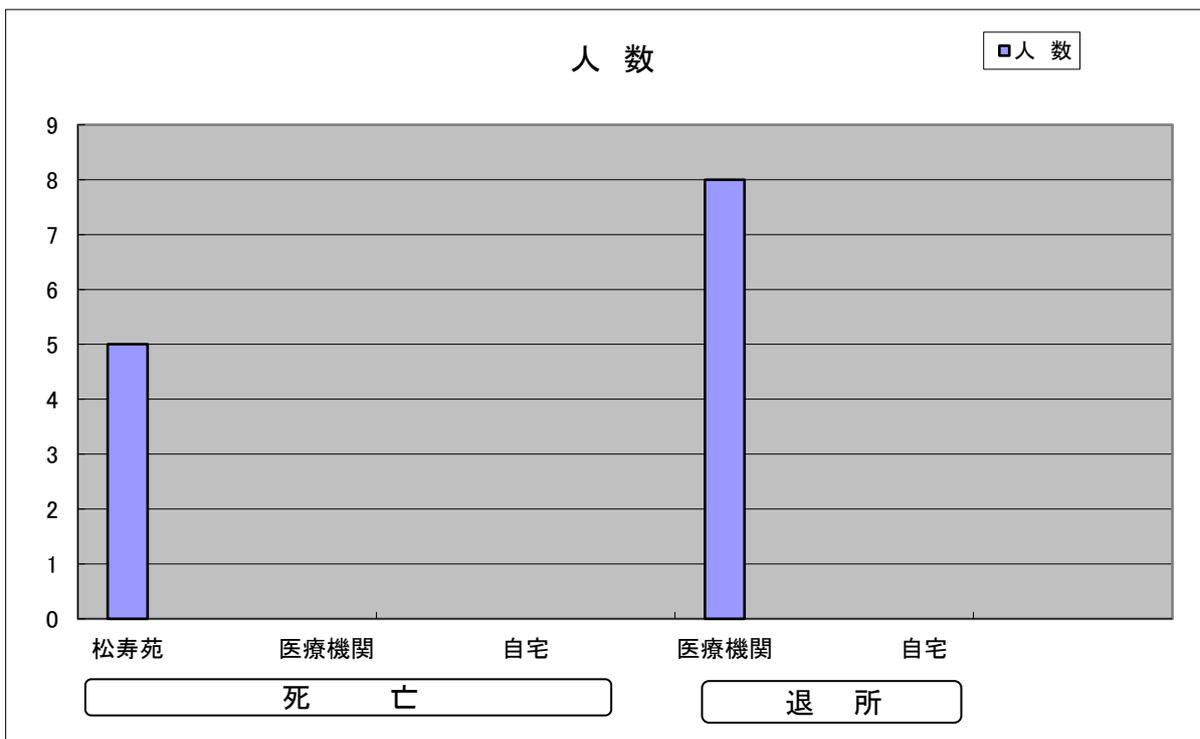
(5)入退所者の状況(令和5年度)  
 (イ)入所前の生活場所



	入所前の生活場所				
	在宅	医療機関	老健	療養型	その他
人数	6	1	7	0	2

(有料老人ホーム)

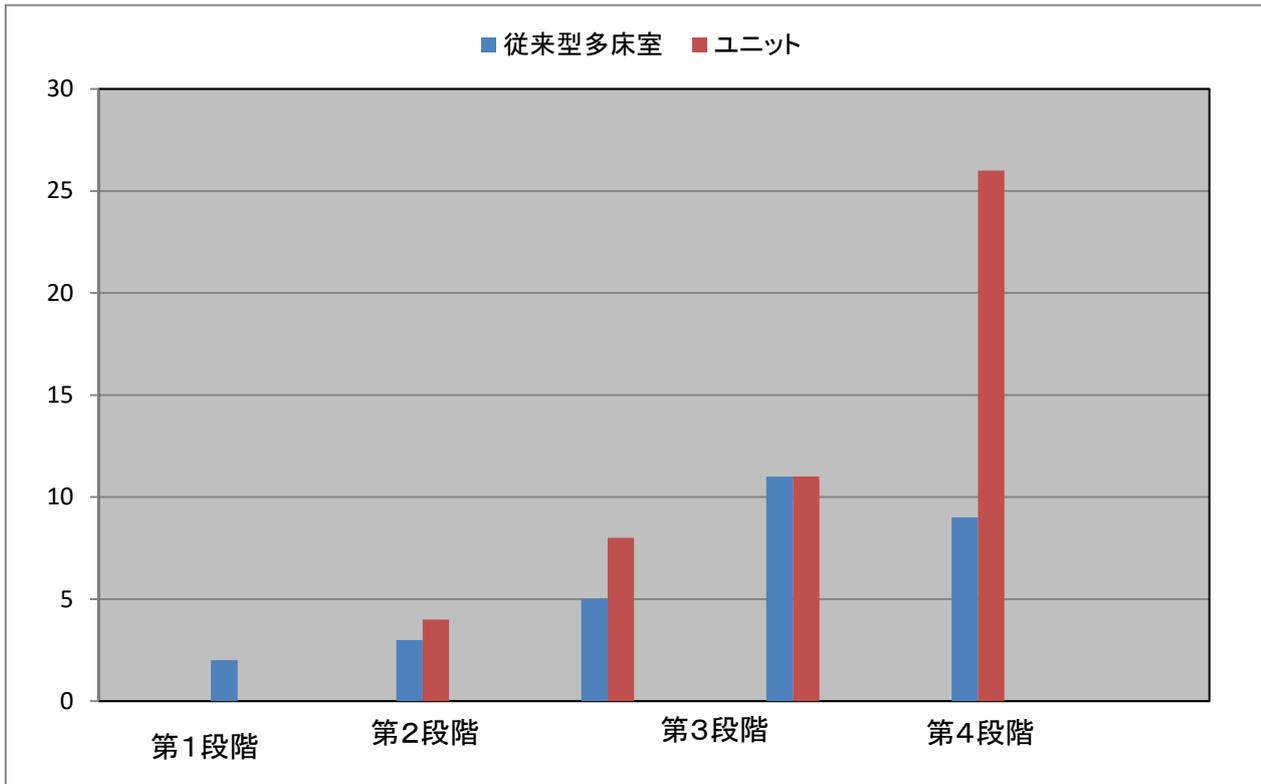
(ロ)退所の理由



	死 亡			退 所	
	松寿苑	医療機関	自宅	医療機関	自宅
人数	5	0	0	8	0

(6) 利用料負担限度額の状況

(令和6年3月31日現在)



	第1段階	第2段階	第3段階①	第3段階②	第4段階
従来型多床室	2	3	5	11	9
ユニット	0	4	8	11	26

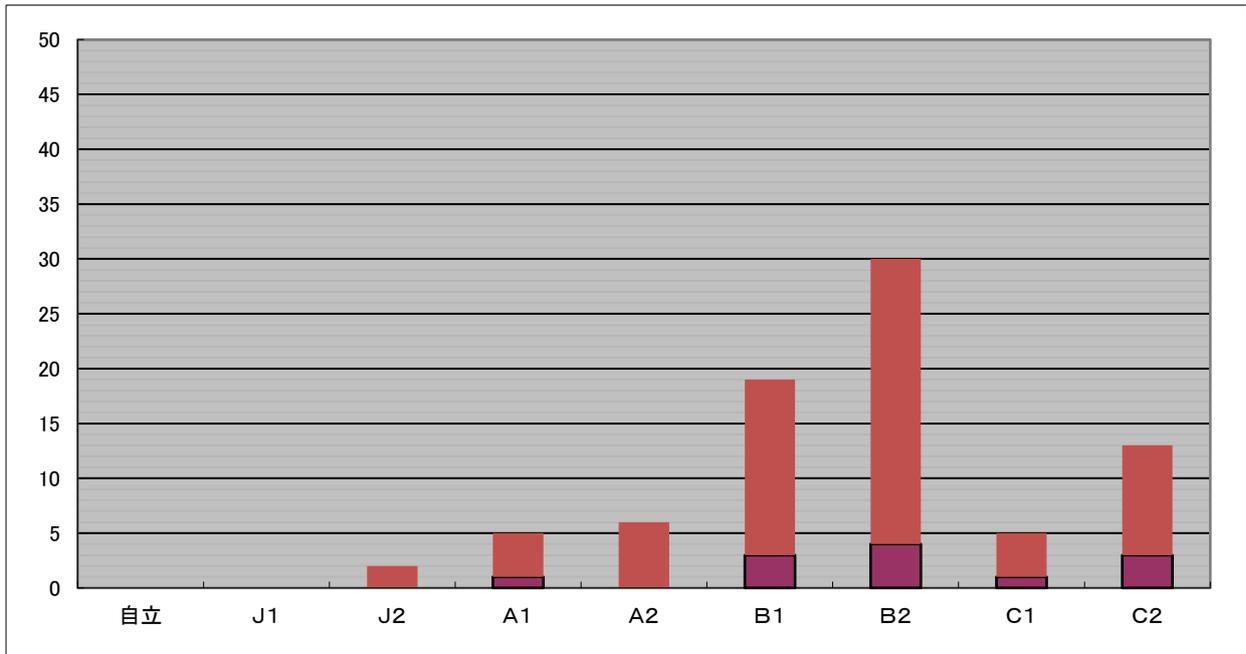
各段階の自己負担額は、以下のように設定されております。( )内は補足給付額

段階	食費(円)	居住費(円)		適用条件
		ユニット	多床室	
第1段階	300( 1,145)	820(1,186)	370( 485)	生活保護受給者 老齢福祉年金受給者 市町村民税 非課税世帯
第2段階	390( 1,055)	820(1,186)	370( 485)	
第3段階①	650( 795)	1,310( 696)	370( 485)	
第3段階②	1,360( 85)	1,310( 696)	370( 485)	
第4段階	1,500	2,070	940	上記以外の方 (負担額は各施設で設定) 市町村民税 課税世帯

自己負担額との差額は、補足給付として保険者(市町)から給付されます。  
(給付限度額は、食費1,500円、居住費ユニット2,070円、従来型多床室940円となっています。)

(7)障がい高齢者の日常生活自立度(令和5年度)

(令和6年3月31日現在)

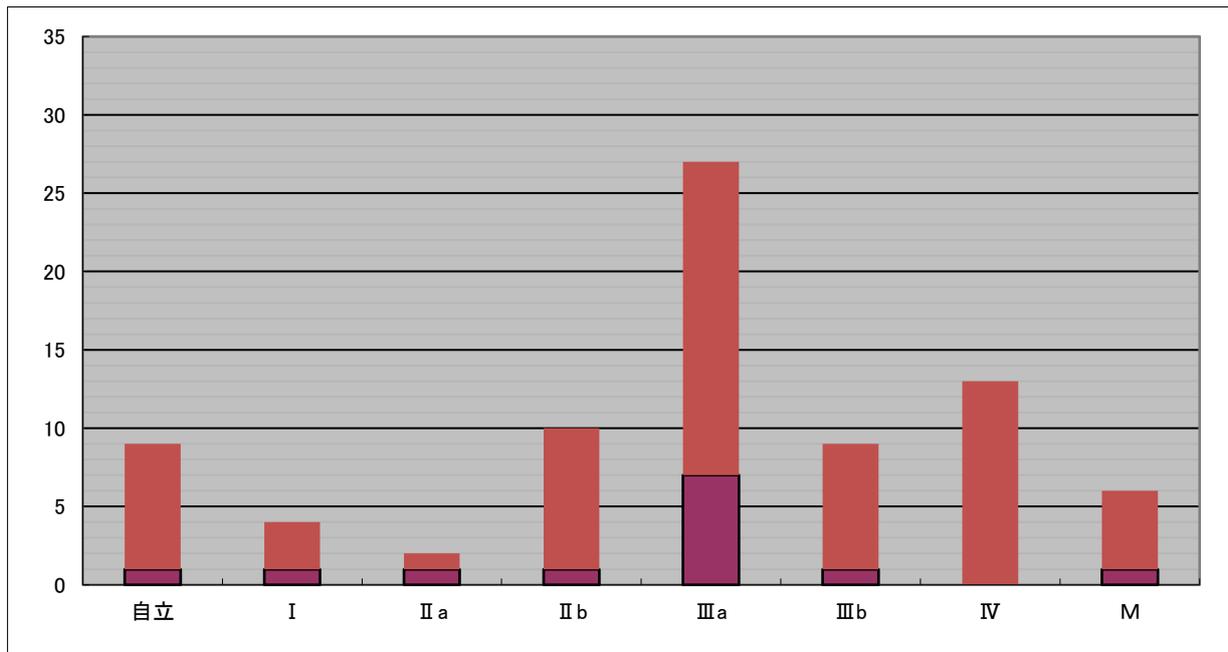


	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2
男	0	0	0	1	0	3	4	1	3
女	0	0	2	4	6	16	26	4	10
計	0	0	2	5	6	19	30	5	13

	ランク	生活の場の制限	身体状態の障害等	介護の状況・行動の例
生活自立	J1	独力で外へ出られる	何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており、独力で外出する	交通機関等を利用して外出する
	J2			隣近所へなら外出する
準寝たきり	A1	家の中で生活	食事・排泄・着替えに関しては概ね自分で行い、近所に外出する時は介護者の援助を必要とする	介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する
	A2			外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている
寝たきり	B1	室内での移動は車椅子での生活	座位を保ち、一日の大半をベッド上で過ごす。食事・排泄・着替えのいずれかはベッドから離れる	介助なしで車椅子に移乗する
	B2			介助のもと車椅子に移乗する
	C1	ベッド上での生活	一日中ベッドの上で過ごし、食事・排泄・着替えのいずれにおいても介護者の援助が必要	自力で寝返りできる
	C2			自力では寝返りできない

(8) 認知症高齢者の日常生活自立度(令和5年度)

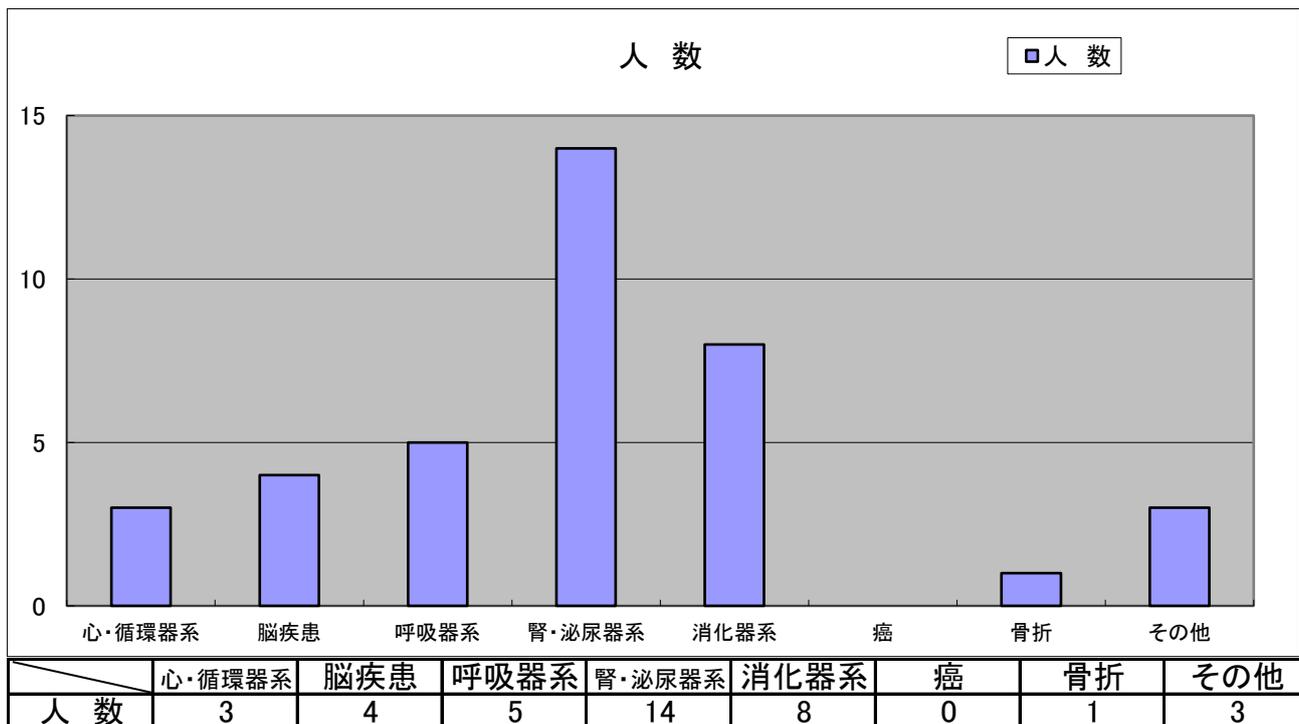
(令和6年3月31日現在)



	自立	I	II a	II b	III a	III b	IV	M
男	1	1	1	1	7	1	0	1
女	8	3	1	9	20	8	13	5
計	9	4	2	10	27	9	13	6

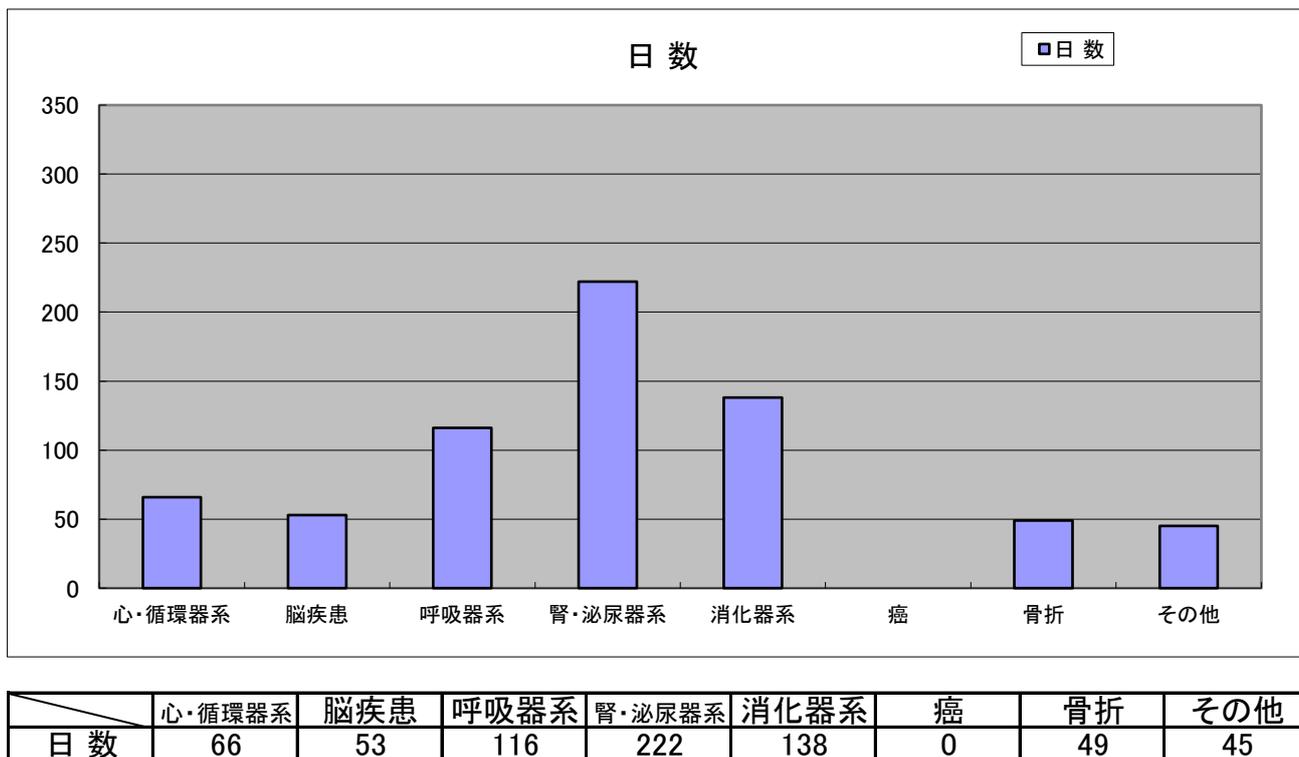
ランク	判断基準		見られる症状・行動の例
I	ほぼ自立でひとり暮らしが可能 (日常生活に必要な意思疎通はできる)		
II	II a	IADL低下が見られる	家庭外で症状が見られる 家庭内でも症状が見られる
	II b	誰かの注意が必要	
III	III a	ADL低下が見られる。ときどき介護が必要	日中を中心に症状が見られる 夜間を中心に症状が見られる
	III b		
IV	常に介護が必要	IIIより頻回 常に目を離すことができない	着替え・食事・排泄が上手にできない、時間がかかる。 やたらにものを口に入れる、物を拾い集める、徘徊、失禁、大声・奇声をあげる、火の不始末、不潔行為、性的異常行為等
M	日常生活に必要な意思疎通ができない又はまれにしかできない		せん妄、妄想、興奮、自傷・他害等の精神症状に起因する問題行動が継続する状態等

(9)入苑者の入院状況(令和5年度)  
 (イ)疾病別入院者数(延59名)

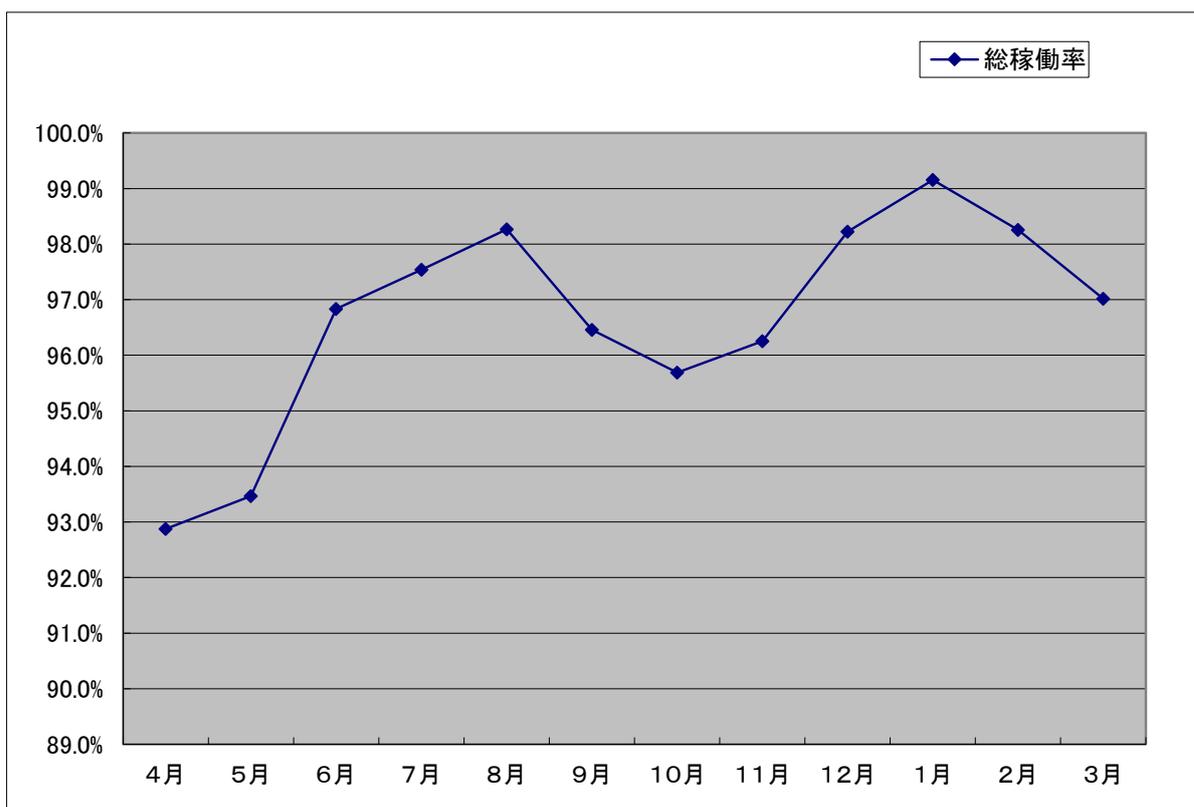


救急車にて搬送… 6回

(ロ)疾病別入院日数(689日)



(10)年間利用状況(令和5年度)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
多床室	定員総日数	900	930	900	930	930	900	930	900	930	930	840	930	10,950
	入院日数	21	8	5	21	0	10	30	53	11	16	25	19	219
	外泊日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	空床日数	0	13	0	0	0	12	19	0	16	0	0	0	60
	空床総日数	21	21	5	21	0	22	49	53	27	16	25	19	279
	延入所者数	879	909	895	909	930	878	881	847	903	914	815	911	10,671
	短期空床利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	実利用者数	879	909	895	909	930	878	881	847	903	914	815	911	10,671
	稼働率	97.7%	97.7%	99.4%	97.7%	100%	98%	94.7%	94.1%	97.1%	98%	97%	98%	97.5%
ユニット型	定員総日数	1,500	1,550	1,500	1,550	1,550	1,500	1,550	1,500	1,550	1,550	1,450	1,550	18,300
	入院日数	64	53	63	40	43	47	29	37	17	5	0	32	430
	外泊日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	空床日数	86	88	8	0	0	16	29	0	0	0	15	23	265
	空床総日数	150	141	71	40	43	63	58	37	17	5	15	55	695
	延入所者数	1,350	1,409	1,429	1,510	1,507	1,437	1,492	1,463	1,533	1,545	1,435	1,495	17,605
	短期空床利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	実利用者数	1,350	1,409	1,429	1,510	1,507	1,437	1,492	1,463	1,533	1,545	1,435	1,495	17,605
	稼働率	90.0%	90.9%	95.3%	97.4%	97.2%	95.8%	96.3%	97.5%	98.9%	99.7%	99.0%	96.5%	96.2%
総稼働率	92.9%	93.5%	96.8%	97.5%	98.3%	96.5%	95.7%	96.3%	98.2%	99.2%	98.3%	97.0%	96.7%	

3. 年間行事、余暇活動実施状況(令和5年度)

○ ユニット

【さくら通り】(特養・短期入所)

月	日	行事内容
7	19	納涼祭
9	29	外出(ドライブ)
10	13	外出(ドライブ)
11	30	年賀状作り
12	8	レクリエーション
12	27	手づくり昼食
3	22	いちご狩り(施設内)

【なの花通り】

月	日	行事内容
5	22	故郷訪問
7	3	納涼祭
8	10	流しそうめん
8	15	故郷訪問
8	10	流しそうめん
8	15	故郷訪問
10	17	故郷訪問
11	13	外出(ドライブ)
12	3	故郷訪問
3	29	外出(ドライブ)

【すずらん通り】

月	日	行事内容
6	27	手づくり昼食
6	28	外出(ドライブ)
7	26	納涼祭
11	16	外出(ドライブ)
11	30	外出(ドライブ)
11	22	手づくり昼食
11	24	外出(ドライブ)

○ 通所介護

松寿苑デイサービスあ・うん

月	日	行事内容
7	5	七夕交流会
8	16.17	納涼祭
10	16~21	運動会
12	25	クリスマス会
1	20	ラ・フローラ 新春コンサート

※紙芝居、童謡ボランティア(毎月)

○ 多床室

【木の実通り】

5	17	外出(ショッピング)
5	24.26	故郷訪問
6	14	手づくり昼食・おやつ
6	12	故郷訪問
7	3	動画鑑賞
7	10	外出(ショッピング)
7	26	手づくりおやつ・足浴
8	10.18	レクリエーション(もの送り)
8	23	納涼祭
9	22	手づくりおやつ
10	6	故郷訪問
10	10	外出(ショッピング)
10	13	手作りおやつ
10	18.31	苑外散歩
11	14	苑外散歩
11	23	足浴、ハンドマッサージ
12	8	風船バレー
12	25	手づくり昼食・おやつ
随時		DVD鑑賞

共通

月	日	行事内容
9	19	敬老会
11	17	避難訓練
12	12.19	寿司キャラバン
1	24.31	手作り昼食

毎月	誕生会(各ユニット毎) 手作りおやつ
随時	レクリエーション (風船バレー、パズル、トランプ 貼り絵、しりとり、将棋等) いきいき活動 (おしぼり・エプロン・洗濯物たたみ 新聞切り・折り等) 外気浴 (苑内外散歩、花見、日光浴等) 音楽 (歌、カラオケ、音楽鑑賞等)

#### 4. 給食の実施状況

##### (1) 入苑者の食事状況

(令和6年3月31日現在)

##### ① ユニットの食数

	朝食						昼食						夕食					
	常食	軟菜	減塩	ハーフ	注入	小計	常食	軟菜	減塩	ハーフ	注入	小計	常食	軟菜	減塩	ハーフ	注入	小計
普通	17	5	3	1		26	17	5	3	1		26	17	5	3	1		26
刻み	0	0	0	0		0	0	0	0	0		0	0	0	0	0		0
小刻み	8	0	2	2		12	8	0	2	2		12	8	0	2	2		12
極小	9	0	2	4		15	9	0	2	4		15	9	0	2	4		15
ミキサー	0	0	0	1		1	0	0	0	1		1	0	0	0	1		1
ソフト	1	0	0	0		1	1	0	0	0		1	1	0	0	0		1
注入					0	0					0	0					0	0
小計	35	5	7	8	0	55	35	5	7	8	0	55	35	5	7	8	0	55

##### ② 多床室の食数

	朝食						昼食						夕食					
	常食	軟菜	減塩	ハーフ	注入	小計	常食	軟菜	減塩	ハーフ	注入	小計	常食	軟菜	減塩	ハーフ	注入	小計
普通	0	0	0	0		0	0	0	0	0		0	0	0	0	0		0
刻み	6	1	0	0		7	6	1	0	0		7	6	1	0	0		7
小刻み	4	2	0	2		8	4	2	0	2		8	4	2	0	2		8
極小	5	0	0	2		7	5	0	0	2		7	5	0	0	2		7
ミキサー	1	0	0	3		4	1	0	0	3		4	1	0	0	3		4
ソフト	1	0	0	1		2	1	0	0	1		2	1	0	0	1		2
注入					2	2					2	2					2	2
小計	17	3	0	8	2	30	17	3	0	8	2	30	17	3	0	8	2	30

注：軟菜：軟菜食（軟らかく、脂ものが少ない食事） ハーフ：ハーフ食（食事1/2量+補助食品）  
 注入：注入食（鼻腔・胃瘻等の流動食）（栄養補助食品のみの食事の方を含める）  
 普通：副食普通菜、刻み：副食刻み（一口大）菜、小刻み：副食小刻み（0.7cm以下）菜、  
 極小：副食極小刻み（0.3cm以下）菜、ミキサー：副食ミキサー（ミキサー食にはソフト食を含む）

##### (2) 検食実施状況

	時間	検食者
朝食	AM 6:30	前日の宿直者
昼食	AM 11:00	前日の宿直者（土・日曜日、祝祭日は日直者）
夕食	PM 5:00	宿直者

##### (3) 栄養摂取状況

	エネルギー (kcal)	蛋白質 (g)	脂質 (g)	Ca (mg)	Fe (mg)
基準量	1,350	50	37	650	6
年間平均	1,412	49	36	493	6
		VA (μg)	VD (μg)	食物繊維 (g)	食塩 (g)
基準量		800	5.5	12	8未満
年間平均		579	3.6	12	6.9

5. 行事食等献立一覧(令和5年度)

	行事名	献立内容 行事食・手作りおやつ等(一例)
4月	4日	お花見献立
	おたのしみ おやつ	桜餅・きなこ餅 苺プリン 甘酒
	ユ・多の行事	誕生日献立
5月	子供の日	ケチャップライス・鯉のぼり和菓子
	花祭り	コロナの為中止
	おたのしみ おやつ	柏餅・抹茶くずもち 骨カルシウムウエハース・きなこ餅
6月	ユ・多の行事	誕生日献立
	おたのしみ おやつ	ラムネ・ミニドーナツ プチシュー・プリン 紫陽花ゼリー
7月	半夏生 鯖	ゆかり御飯・焼き鯖・うどん・二色豆
	七夕	散らし寿司・冷そうめん・星型のハンバーグ
	土用の丑の日	鰻の蒲焼き
	おたのしみ おやつ	アイスクリーム・すいか じゃが芋餅・和菓子バイキング
8月	納涼祭	焼き鯖散らし寿司・肉じゃが 散らし寿司・赤飯・すまし汁・焼き魚 白玉ぜんざい・すいか BBQ、たこ焼き流し素麺
	おたのしみ おやつ	アイスクリーム・葛饅頭 かき氷・水まんじゅう・たこ焼き
9月	敬老会	ちらし寿司・祝いの和菓子 <small>天麩羅・茶碗蒸し・なの花のからし和え・カニしんじょう</small>
	秋分の日	おはぎ
	おたのしみ おやつ	ドーナツ・プリン 梨・手作りおはぎ 水まんじゅう
10月	創立記念日	赤飯・天ぷら・上用饅頭・丁稚羊羹
	新米企画	各ユニットで調理提供
11月	おたのしみ おやつ	スイートポテト・栗のお菓子 手作りどら焼き・柿和菓子
	焼き芋	焼き芋
	十五夜	お月見饅頭
12月	おたのしみ おやつ	柿・切り芋 芋羊羹・さつま芋スムージー
	ユ・多の行事	寿司キャラバン
12月	クリスマス	モミの木ハンバーグ・サラダ クリスマスケーキ
	冬至	南瓜の煮物・柚子和菓子
	もちつき大会	中止
	年越し	年越しそば・天ぷら・かき揚げ
	おたのしみ おやつ	苺と小豆の実り大福 芋羊羹・葛湯・バームロール サンタの和菓子

	行事名	献立内容 行事食・手作りおやつ等(一例)
1月	お正月	1日おせち 季節の和菓子 雑煮 3日 ちらし寿司
	七草粥	七草粥
	小正月	ぜんざい
2月	お楽しみおやつ	水羊羹・お饅頭 スイートポテト・葛湯と和菓子
	節分	豆ご飯・鰯の生姜煮 季節の和菓子・節分豆
	バレンタイン	ハートハンバーグ チョコプリン ガトーショコラ
	ふるさとの日	焼き鯖・おろし蕎麦
3月	おたのしみ おやつ	お汁粉・苺フルーチェ 水羊羹
	桃の節句	宝石ちらし・男雛・女雛ねりきり
	ユ・多の行事	大根の漬物作り
	おたのしみ おやつ	きな粉餅・たこ焼き きな粉マカロニ・芋羊羹・果物盛り合わせ

※月1回は誕生日メニュー、おやつ(ケーキ、ジュース)を提供

※ユ・多の行事  
ユニット・多床室内での誕生会、手作り昼食やおやつ  
などのイベント行事の略  
※おたのしみおやつ

各ユニット、多床室、デイサービスによって利用者の  
ADLや嗜好、おやつへの取り組み方が違うため、その  
利用者に喜んでもらえるおやつをみんなで考えて  
もらい月1回提供を行う。

## 6. リハビリテーション実施状況

(令和6年3月31日現在)

訓練内容	内 訳	リ ハ ビ リ 効 果	対象人数	実施回数
ベッド上訓練	寝返り	起居動作をスムーズにする	2	週2回
	お尻上げ 起き上がり おへそのぞき		2	週1回
座位保持訓練	端座位	腹筋、背筋強化	12	週2回
			7	週1回
下肢筋力向上訓練	重り上げ	前頸骨筋強化	13	週2回
	膝伸ばし 足踏み	大腿四頭筋強化 骨盤前面筋の強化	7	週1回
関節可動域訓練	上下肢(他動)	上下肢の筋萎縮や拘縮の予防 両肢位保持	13	週2回
			7	週1回
ストレッチ	上下肢、体幹	筋短縮予防	13	週2回
			8	週1回
立位訓練	立ち上がり	移乗時のバランス保持 立位時の下肢安定	12	週2回
	立位保持 立位時重心移動		5	週1回
歩行訓練	平行棒内歩行	日常生活範囲の拡大	6	週2回
	杖歩行 歩行器		4	週1回
温熱療法	赤外線照射 ホットパック 足 浴	鎮痛作用 温熱効果、血流促進	—	週2回
言語療法	嚥下訓練	脳への刺激、嚥下促進効果 唾液分泌、自浄作用	—	週2回
生 活 リ ハ ビ リ		日常生活行為にて機能維持	79	毎 日

7. ボランティア活動状況

単位:人(令和5年度)

月	シーツ交換	屋内外清掃	演 芸	行事援助	友愛訪問	合 計
4						0
5		29				29
6						0
7						0
8						0
9						0
10						0
11						0
12						0
1						0
2						0
3		3				3
合計	0	32	0	0	0	32

ボランティア団体名                   ・日赤奉仕団(上中地区)5/28 施設周辺の草取り

8. 研修受け入れ状況

(令和5年度)

年 月 日	内 容	人 数
令和5年7月28日	職場見学(美方高校)	1名
令和5年7月24日、28日、31日	老年看護学実習(公立若狭高等看護学院)	8名
令和5年9月11日～27日	介護実習 I - 1(若狭医療福祉専門学校)	3名
令和5年11月16日、17日	職場体験(上中中学校)	3名
令和6年2月5日～16日	介護実習 I - 2(若狭医療福祉専門学校)	3名
合 計		



	研修名	研修日	主催(講師)・内容等	参加者数
苑 内	倫理・理念・基本指針・プライバシー保護	4/26	苑長、副苑長	21
	認知症の方とのコミュニケーション	5/24	百田SR	19
	感染症対策(演習)	6/28	小浜病院感染管理認定看護師森脇先生	43
	高齢者虐待防止・身体拘束の適正化について	7/26	虐待防止委員会・身体拘束適正化検討委員会	59
	リスクマネジメント研修	8/23	リスクマネジメント会議	61
	褥瘡予防について	9/27	褥瘡対策委員会、ユニ・チャーム小林氏	59
	終末期のケア。看取りを考える	10/25	敦賀医療センター緩和ケア認定看護師橋本先生	54
	感染症対策(ノロウイルス感染対策)	11/22	小浜病院感染管理認定看護師森脇先生	55
	リスクマネジメント研修	12/27	リスクマネジメント会議	52
	高齢者虐待防止	1/24	虐待防止委員会	51
	部門取組発表	3/27	各部門担当者	55

	訓練名	訓練日	主催(講師)・内容等	参加者数
訓 練	避難訓練	8/31	夜間帯避難訓練・救命講習(若狭消防署)	92
	防災訓練	12/7	防災気象情報の活用(福井地方気象台)	21
	防犯訓練	2/26	不審者対応講習(小浜警察署)	49

#### IV. 指定短期入所生活介護事業所ショートステイ松寿苑

##### 1. 令和5年度まとめ

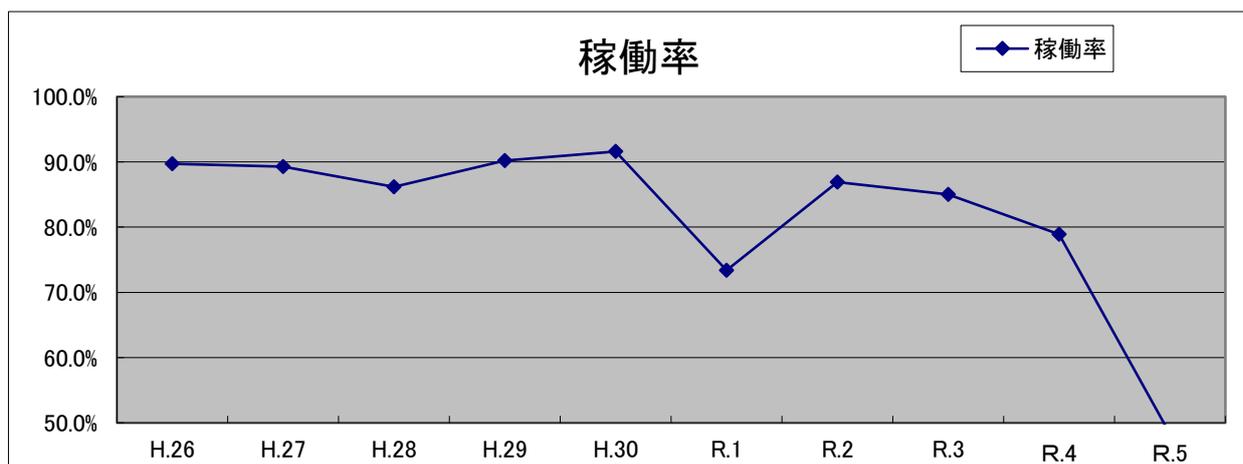
今年度の稼働率は目標90%に対して48.3%であった。

令和5年6月1日～8月31日の間、職員不足に伴い利用人数を制限した。体制の整った9月1日より再開したが、慢性的な職員不足が今後も懸念されることから、4月1日よりショートステイを長期入所へ転換することとなった。

今後は長期入所者の入院等による空きベッドを利用していくことで利用者のニーズにできるだけ応えと共に、安定した経営に努めていきたい。

##### 2. ショートステイ利用状況

###### (1) 年度別利用状況



	H. 26	H. 27	H. 28	H. 29	H. 30	R. 1	R. 2	R. 3	R. 4	R. 5
件数	697	699	733	718	711	591	536	519	440	440
日数	3,314	3,268	3,165	3,331	3,359	2,686	3,173	3,266	2,891	1,763
内介護予防	77	194	107	131	54	8	8	0	38	77
内空床利用	39	0	0	38	15	0	3	162	49	0
実短期日数	3,275	3,268	3,165	3,293	3,344	2,686	3,170	3,104	2,842	1,763
稼働率	89.7%	89.3%	86.2%	90.2%	91.6%	73.4%	86.9%	85.0%	78.9%	48.3%

###### (2) 令和5年度月別利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	35	38	40	44	43	38	39	37	11	28	44	43	440
日数	213	207	79	83	66	119	142	186	167	163	181	157	1,763
内介護予防	3	5	7	8	4	11	5	5	5	5	12	7	77
内空床利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

###### (3) 令和5年度市町村別利用者状況

	小浜市	若狭町	おおい町	その他	合計
件数	93	108	18	0	219
日数	673	877	139	0	1,689

## V. 松寿苑デイサービスあ・うん

### 1. 令和5年度まとめ

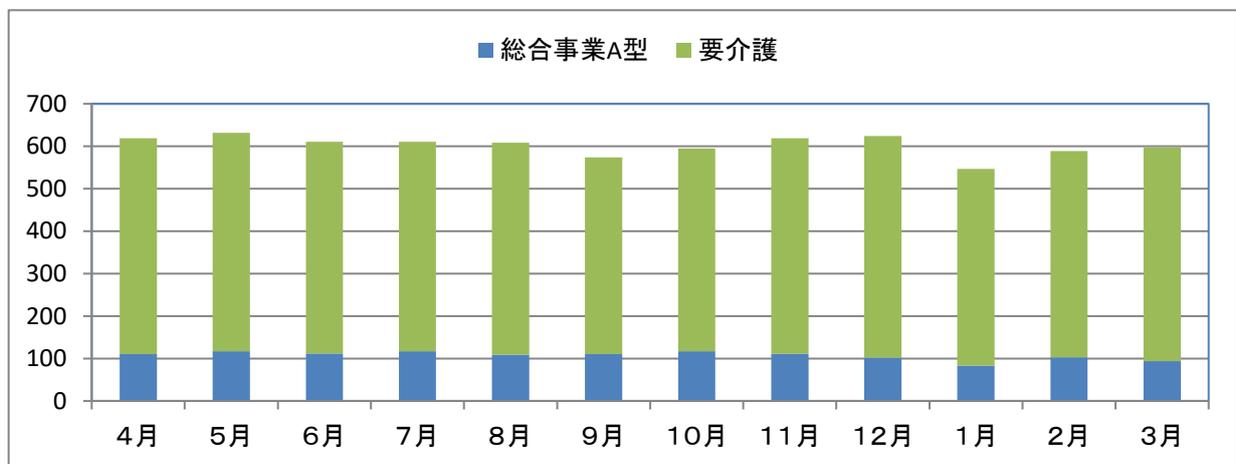
令和5年度の利用登録者数は、3月31日時点で介護予防の利用者17名、通所介護の利用者61名であり、令和4年度と比べると1名増加している。稼働率は目標の70%に対して66.6%であった。

新規利用者の開拓や受け入れに努めたが、若狭町や小浜市など近隣のデイサービスで利用者が減っており、デイサービスと併設されている居宅介護支援事業所のケアマネージャーから新規利用者の紹介が減った。

ご利用中の利用者には、個々のニーズに合わせた余暇活動やレクリエーション、季節の行事を提供し、楽しい雰囲気の中で過ごしていただく事で、満足度の高いサービスが提供できたと感じている。

ケアマネージャーには体調の変化など必要な情報を報告し、安心して利用できるデイサービスをアピールすることで信頼度の向上を心掛けた。

### 2. 令和5年度月別利用状況



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総合事業A型	110	117	112	117	109	110	117	111	102	83	103	94	1,285
要介護	509	515	499	494	499	464	478	508	522	464	486	503	5,941
合計	619	632	611	611	608	574	595	619	624	547	589	597	7,226
定員数	875	945	910	910	945	910	910	910	910	840	875	910	10,850
稼働率	70.7%	66.9%	67.1%	67.1%	64.3%	63.1%	65.4%	68.0%	68.6%	65.1%	67.3%	65.6%	66.6%

※介護予防・日常生活支援総合事業総合A型…サービス提供時間 9:00～12:30

#### ※加算状況

利用者数	個別機能加算 I (1)	入浴介助	認知症加算
5,941	5,307	5,015	2,254
加算率	89.3%	84.4%	37.9%

※ 認知症加算は、認知症高齢者の日常生活自立度Ⅲ以上の方が対象

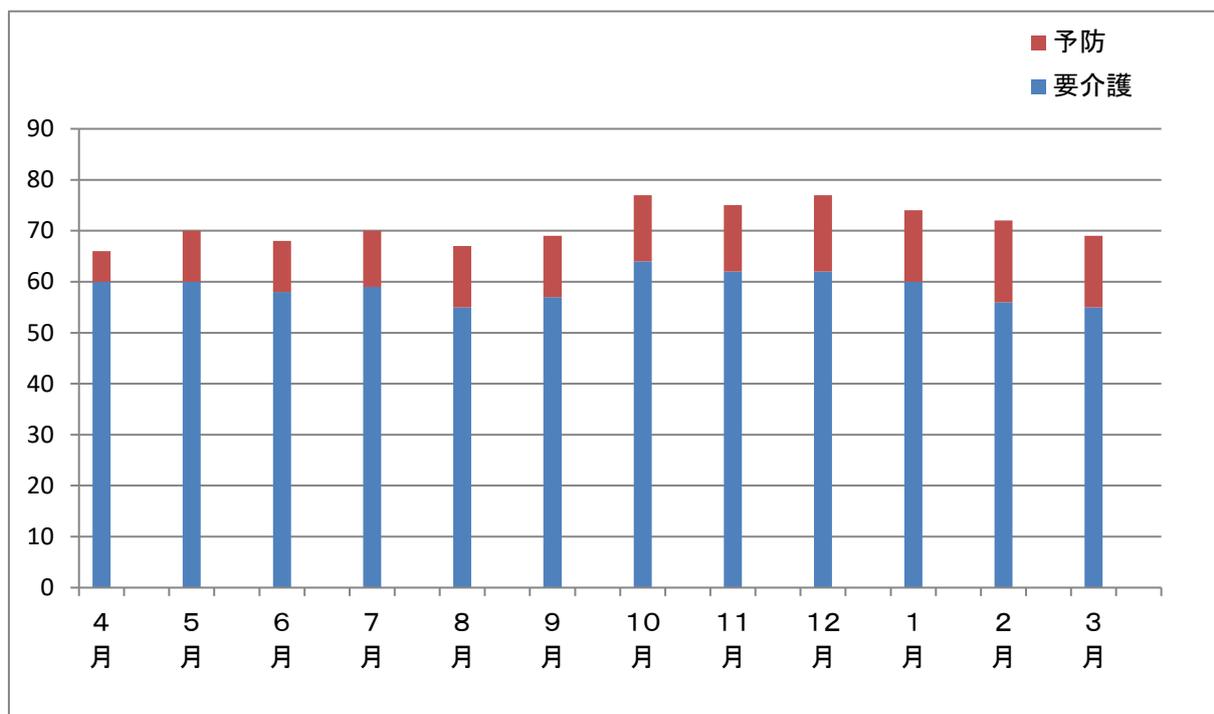
## VI. 居宅介護支援事業所松寿苑

### 1. 令和5年度まとめ

今年度は、若狭町の総合事業の委託は月平均11名であった。R4年度と比較し2倍の実績となっている。また新たに小浜市からも委託要請があり月平均1名担当させて頂いた。

要介護者は月平均59名の実績があった。若狭町近隣では入所施設や入院病床が高齢者に対して多いため在宅介護が困難になってくると比較的早く入所になる傾向にある。また国が介護予防に力を入れており介護保険を申請する高齢者が少なくなっている。それでも在宅生活に不安を抱えている高齢者やそのご家族は多くいらっしゃるのので、今後も地域包括支援センターや各関係機関との連携を取り、在宅で生活している高齢者、またはその家族を少しでも多く支援し、地域で信頼できる事業所として根差していきたい。

### 2. 令和5年度月別ケアプラン作成件数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護予防ケアマネジメント	1	1	1	2	2	3	3	3	4	3	4	2	29
予防給付ケアプラン作成	5	9	9	9	10	9	10	10	11	11	12	12	117
小計	6	10	10	11	12	12	13	13	15	14	16	14	146
要介護	60	60	58	59	55	57	64	62	62	60	56	55	708
合計	66	70	68	70	67	69	77	75	77	74	72	69	854

VII. 事故およびヒヤリ・ハット発生状況

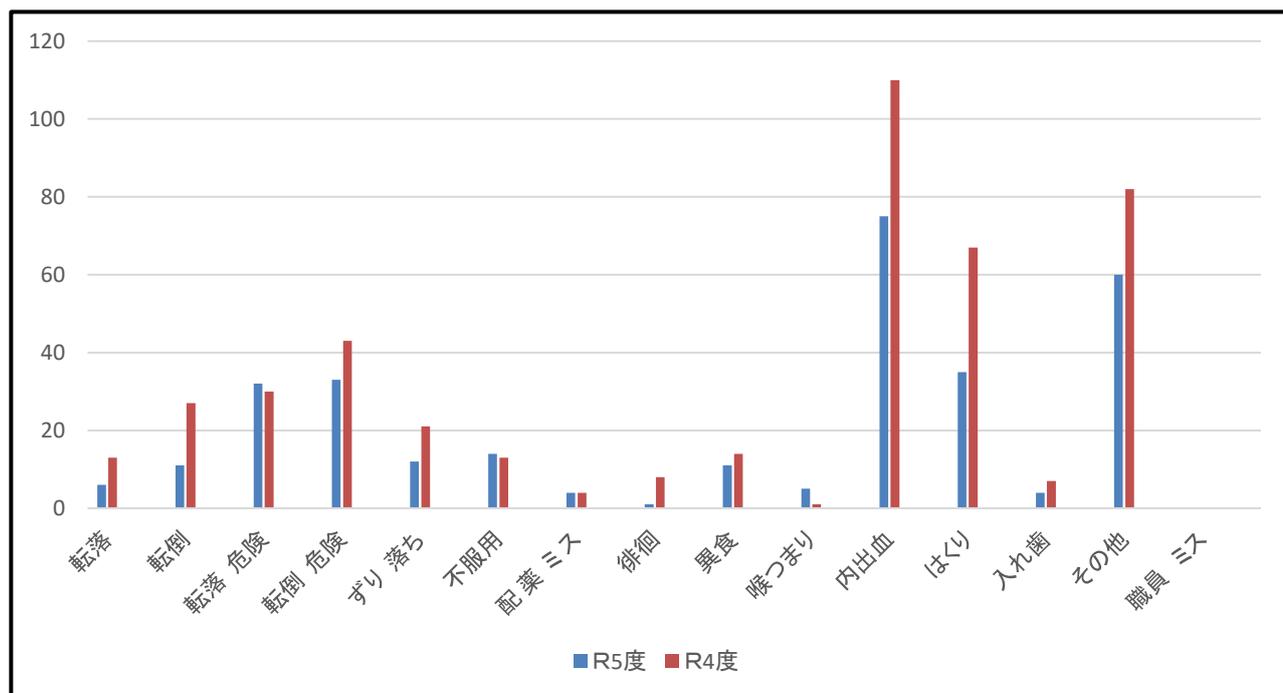
○特養

1. 事故・・・ 9件

内容	令和5年度	
誤薬	【概要】 朝食時、誤って他の利用者の内服を、服用させてしまった。 出勤時に看護師に説明し、意識レベルとバイタル測定を実施。 その後小浜病院救急外来へ受診。今回の服用だけでは問題ないとのこと。	【原因】 服薬前に名前の確認が出来ていなかった。 他の利用者に服薬介助するつもりで薬を持ち、手が止まっている当人の水分補給をした流れで服薬させてしまった。
	【対策】 服薬は必ず名前を確認する。 服薬時には他の業務と混同しない様に対応する。	
異食	【概要】 おやつのカステラの底に紙が付いていたことに気づかず食べてしまった。	【原因】 認知症があり気付かなかった。 おやつを介助した留学生に職員が説明していなかった。
	【対策】 留学生に対して十分説明を行い、その後も職員が確認する。 利用者の食事については細心の注意を払うよう職員間で申し送る。	
不服用	【概要】 錠剤を、ハンマーで粉砕していた時、1錠を遠くに飛ばしてしまった。近辺を探すも見つからず。看護師に確認し、今回は服薬しなかった。	【原因】 粉砕する手順が明確でなかった。 ハンマーを用いたため、硬い錠剤では粉砕することが出来なかった。
	【対策】 ハンマーでの粉砕は中止する。錠剤を服用できない利用者に対しては、事前に粉末に出来ないか検討する。	
不服用	【概要】 リビングで掃除をしていた時、薬が床に落ちていた。	【原因】 薬を準備した時か、薬を口に入れた時に落ちたと考えられる。
	【対策】 袋から出す前に、薬の数に間違いが無いか確認する。 服薬の手順を再度確認する。	

貼り忘れ	<p>【概要】 前日の貼布剤の貼り忘れをテーブルで発見する。</p> <p>【原因】 内服の氏名を確認できていなかった。また飲む直前にも再度確認が出来ていなかった。</p> <p>【対策】 服薬介助時に、利用者名と薬に書かれている氏名を再度確認する。</p>	
不服用	<p>【概要】 リビング床に眠剤が1錠落ちていた。</p> <p>【原因】 以前より飲み込み難い状況になってきている。服薬確認はしていたが、飲み込みまで確認が出来ていなかった。</p> <p>【対策】 服薬時、口の中まで運び、飲み込みを確認する。意思疎通できる方でもあるので、服薬できたか確認する。</p>	
不服用	<p>【概要】 テーブル横に1錠薬が落ちていた。</p> <p>【原因】 服薬介助時に口に薬を入れる際に、落ちたのを確認し拾ったが、もう1錠落ちていた。薬をスプーンに移さず、袋から口に直接服薬介助を行っていて確認不足であった。</p> <p>【対策】 薬が多い時の服薬時は、袋からスプーンに移して介助する。服薬後、口の中に確実に服薬できていることを確認する。</p>	
不服用	<p>【概要】 夕薬(臨時処方)が内服されいなかった。</p> <p>【原因】 本来配布すべき職員と異なる職員が配薬しており、本来の職員が把握していなかった。</p> <p>【対策】 臨時薬が生じた場合には、看護師、介護職員とで再度確認する。臨時薬がある場合には、付箋を付ける。</p>	
不服用	<p>【概要】 昼食時、服用せず服薬BOXに残っていた。</p> <p>【原因】 服薬があるのに無いと思い込んでいた。</p> <p>【対策】 服薬BOXと服薬チェック板をセットにして必ず確認する。職員が休憩に入る場合は、職員の申し送りを徹底する。</p>	

## 2. ヒヤリ・ハット・・・ 303件



	転落	転倒	転落危険	転倒危険	ずり落ち	不服用	配薬ミス	徘徊	異食	喉つまり	内出血	はくり	入れ歯	その他	職員ミス	合計
R5度	6	11	32	33	12	14	4	1	11	5	75	35	4	60		303
R4度	13	27	30	43	21	13	4	8	14	1	110	67	7	82		440

### 内容

転倒(危険)・ 転落(危険)	<p>内容としては、コールマット作動しても他利用者介助中で間に合わないケース、駆け付けてもすでに動きだしているケースが目立った。また、ベッドや車いすのブレーキかけ忘れ、コールマットの敷き忘れ等、職員の不注意によるものもあった。</p> <p>原因の一つとして、例年要介護度が上がっている中で、認知症の悪化によるものや、最近では精神疾患の利用者が増加したことで転倒リスクが高まっていることが考えられる。主な防止策としては、職員ミスをなくすための居室の定期的な見回りや、行動する時間帯を把握する表を作成して行動パターンをつかむなどの対策を行った。</p>
異食	<p>例年に比べて増加した。いずれのケースも背中をたたく「タッピング」という方法で対応して落ち着いている。</p> <p>内容としては、細かく刻んだ杏仁豆腐が詰まったり、トロミがしっかりついていなかったこと、ほうれん草などがひっかかった可能性等である。増加した理由としては、全体的な嚥下機能の低下が上げられる。</p> <p>対策としては、食事形態の見直しや、全介助の方法の検討、食後の様子観察の徹底等を行った。</p>

○短期入所・デイサービス

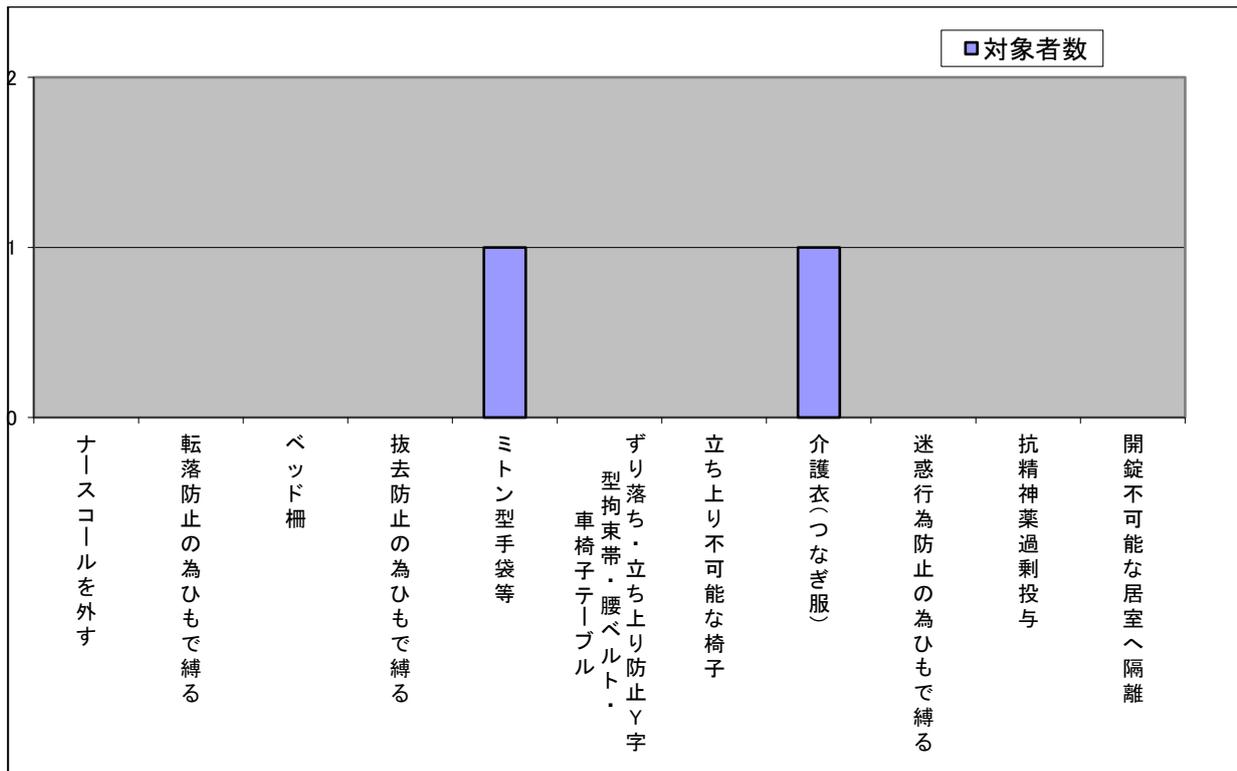
1. 事故・・・5件(短期:2件、デイサービス:3件)

窒息 デイ	【概要】 【原因】 【対策】	<p>【概要】 昼食を食べているとき痰絡みのムセが見られたためタッピングし排出促すが痰絡み続いた。車いすで静養室に向かう。その間、咳払い促すも、困難な様子見られ背部叩打法、指を入れて嘔吐促した。</p> <p>【原因】 利尿剤を服用中で口腔内の水分が少なく咽やすい状況であった。昼食のメニューが麻婆豆腐やショウガ味など咽やすいメニューであった。</p> <p>【対策】 食事前には水分をしっかりとって頂き、また食事もゆっくり食べて頂くよう、また見守り声掛け行う。</p>
転落 デイ	【概要】 【原因】 【対策】	<p>【概要】 ベッドから起き上がる時、足を下ろそうとした時、床までずり落ちた。</p> <p>【原因】 寝起きということもあり、本人はベッドの端を確認していなかった。また職員も普段は出来ていることから少し離れた場所から見守っていた。</p> <p>【対策】 普段できている方でも、思いがけない事故につながることもある。注意して見守る。</p>
転倒 デイ	【概要】 【原因】 【対策】	<p>【概要】 デイサービス帰りの時、車に乗車する迄、玄関まで誘導。その時、立ったまま靴を履いていたので座って履くよう促す。このとき他の認知症の利用者も居たため、先に車へ誘導していた時に、左側に転倒していた。</p> <p>【原因】 認知症がありまたこの時は落ち着きが無かった。普段から、立ったまま靴を履きなおす行為みられ出来るだろうと思い込んでいた。玄関の見守りは1人と手薄であった。</p> <p>【対策】 利用者を一人にしない様、職員間で情報を共有する。見守りは、何かあった時には直ぐに手が届く距離で対応する。</p>
不服用 ショート	【概要】 【原因】 【対策】	<p>【概要】 服薬の準備をしていたところ。昼の一包が余っていることに気づく。</p> <p>【原因】 ショート利用初日の昼食の薬を渡し忘れをしていた。</p> <p>【対策】 入苑者が来たら、昼食が始まる前に昼薬が無いか確認し、介護職へ渡す。</p>
骨折 ショート	【概要】 【原因】 【対策】	<p>【概要】 トイレ介助時腰の痛みあり。以後も痛み続き病院受診。第8胸椎圧迫骨折の診断を受ける。</p> <p>【原因】 骨粗鬆症の既往歴あり。また体重の増加傾向あり。トイレや入浴、への移乗にの際に腰への負担が生じていた。</p> <p>【対策】 骨折が完治する迄は、コルセット着用しトイレはオムツ対応とする。完治後は、腰への負担軽減のため、移乗方法について検討。</p>

2. ヒヤリ・ハット・・・ 20件

VIII. 身体拘束の状況

(令和5年度)



内容	原因	人数	備考
ミトン型手袋	皮膚に腫瘍が出来て病院受診した結果、病院で手術を行うこととなった。手術後、担当医師より患部を触らないようにとの指示であったが、認知症のため触ろうとしてしまうことから、両手にミトンを着用するに至る。	1	
つなぎ服	骨折により小浜病院へ入院。保存的治療にて退院となったが、入院中オムツ触りが頻回にあり、陰部の保清が保てないことからつなぎ服を着用していた。退院後も陰部のただれがひどいため、苑でも皮膚状態が改善するまで日中、夜間につなぎ服を着用するに至る。	1	

区. 苦情受付状況

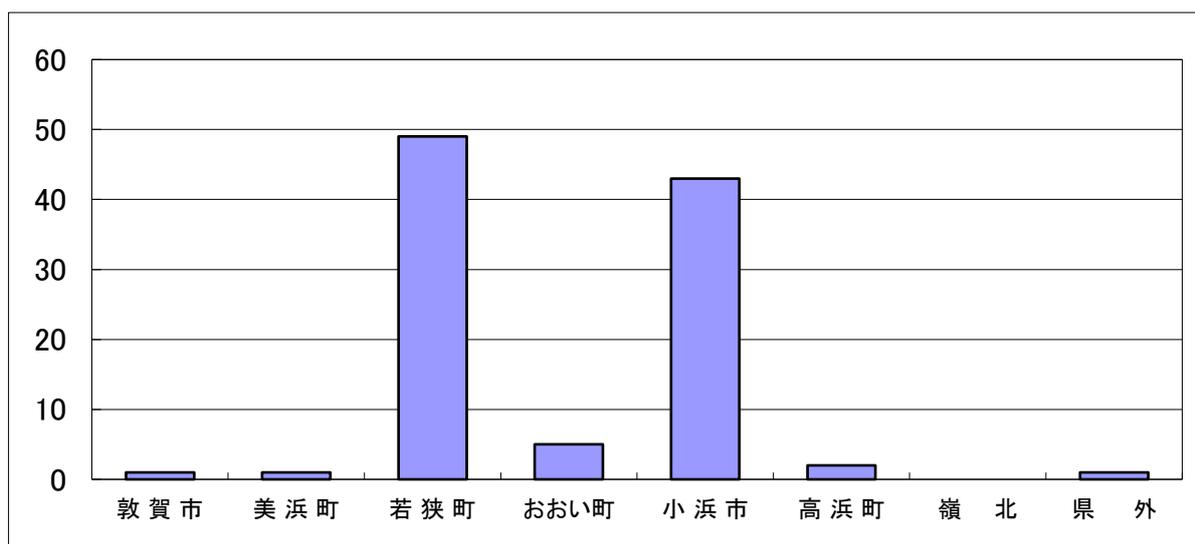
苦情受付 0件

令和5年度

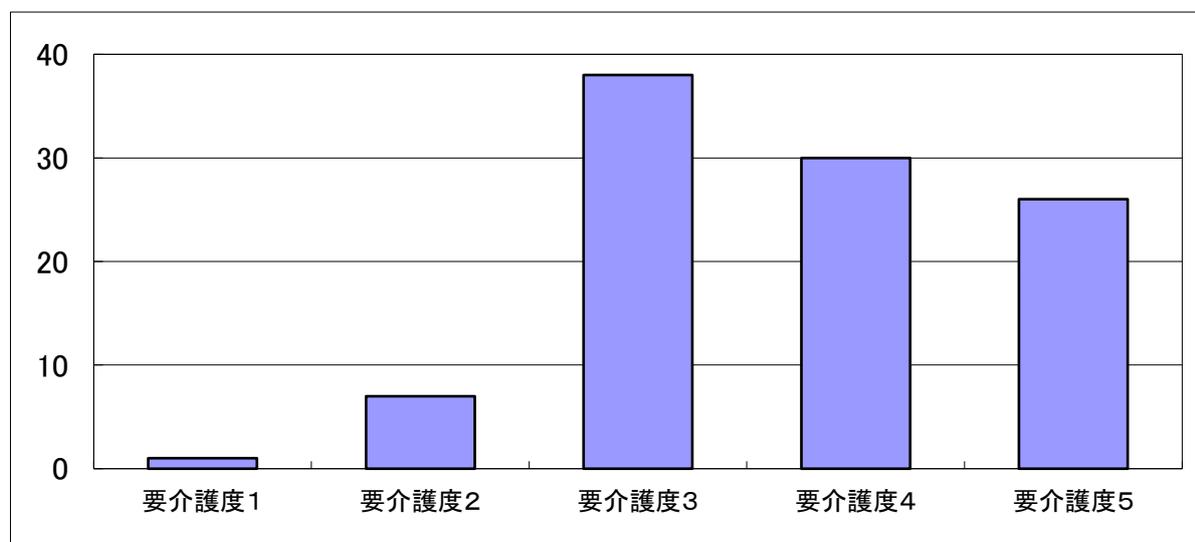
苦 情 内 容	対 応

◎ 入苑待機状況  
・市町村別

(令和6年3月31日現在)



・要介護度別



	要介護度1	要介護度2	要介護度3	要介護度4	要介護度5	合 計
敦賀市	0	0	1	0	0	1
美浜町	0	0	0	1	0	1
若狭町	1	3	21	10	14	49
おおい町	0	1	3	0	1	5
小浜市	0	3	10	19	11	43
高浜町	0	0	2	0	0	2
嶺北	0	0	0	0	0	0
県外	0	0	1	0	0	1
合 計	1	7	38	30	26	102